

—青少年教育施設・森林総合利用施設等と連携した推進体制づくりに向けて—

「森林環境教育・森林 ESD」緑の少年団」推進全国セミナー 開催要項

【開催日程】令和4年3月8日(火) 13:30～17:15

【開催場所】オンライン会議システム「ZOOM」

《開催趣旨》

- 2020年度から、小学校では「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」や地域資源を活用した教科横断的な学習等を重視した新たな「学習指導要領」及び「教科書」が導入されました。
- そして、“森林”は体験学習のみならず、関連した調べ学習、問題解決学習等が行いやすく、教科横断性などがあることから、多くの「教科書」等において“森林”が教材として扱われております。
- こうした中で、移動教室や林間学校等の「集団宿泊的行事」を受け入れてきた青少年教育施設においても、施設周辺にある森林・里山等を活用した「森林環境教育・森林 ESD」を通して、教科等に対応させた「集団宿泊的行事」に関心を寄せる施設や、“森林”が教材とした「主体的・対話的で深い学び」に関心を寄せる教育委員会等が芽生えつつあります。
- そこで、青少年教育施設・森林総合利用施設等と連携して、「森林環境教育・森林 ESD」や「緑の少年団」等を推進するための体制のあり方を、先進事例に学ぶオンライン・セミナーを開催します。

◆参加対象 ～こんな方に、おススメです～

- ① 自治体や教育委員会・関係団体等で、学校等での「森林環境教育・森林 ESD」、「緑の少年団」等の支援体制の充実に取り組んでいる担当者
- ② 青少年教育施設や森林総合利用施設等において、学校等の受入を拡充したいスタッフ
- ③ 森林 NPO やインストラクター等で、学校への「出前授業」や「体験活動」の受入を促進したいスタッフ
- ④ 学校や緑の少年団で、「森林環境教育・森林 ESD」を推進したい教職員・外部指導者等

◆研修内容 ～こんなプログラムをご用意いたします～

- ① 新たな「学習指導要領」と「教科書」における森林・自然等の記載内容から、学童期における「森林環境教育・森林 ESD」や「緑の少年団」の展開の可能性等を紹介します。
- ② 自治体の林務部署等と青少年教育施設等の具体的な連携事例から、両組織間の連携のポイントを学びます。
- ③ 青少年教育施設・森林総合利用施設等における「体験活動」の受入や、学校等への「出前授業」等の先進事例から、「森林環境教育・森林 ESD」や「緑の少年団」の支援施策や支援体制のあり方を学びます。
- ④ 先進事例の担当者への質疑応答や、意見交換・マッチングの場を設定します。

◆開催概要

〈開催場所〉オンライン会議システム「ZOOM」

〈募集人数〉100名（定員になり次第、締め切りますので、お早めにお申し込みください）

〈参加費〉無料

〈申込方法〉WEBサイトの「申込フォーム」からお申し込みください。

《フォーム》<https://forms.office.com/r/CqjU6Pccs3>

※フォームにアクセスできない場合は、①氏名、②組織名・部署・役職名、③住所、④TEL、⑤E-mail、⑦備考を、お問合せ先まで E-mail にてお送りください。

〈申込締切〉令和4年3月7日(月) 12:00 まで

【プログラムと各講師紹介】

1. 開会挨拶 沖 修司（(公社)国土緑化推進機構 専務理事）
安高 志穂（林野庁 森林利用課 山村振興・緑化推進室）
2. 基調講演「教育分野の視点と森林・林業分野の視点を組み合わせた「森林 ESD」のあり方」
山下 宏文（京都教育大学 教授）
3. 概要報告「青少年教育施設等と連携した「森林 ESD」「緑の少年団」の推進体制づくり」
木俣 知大（(一社)東京学芸大 Explayground 推進機構 研究員）
4. 事例報告「青少年教育施設・森林総合利用施設等と連携した推進体制づくり」

【1】広域レベル

「青少年教育施設と県林務部署が連携した指導者養成・受入体制づくり」

- 森林を題材とした教科等と連動したプログラム開発を取り組む「国立曽爾青少年自然の家」と、新たに「みえ森林教育ビジョン」を策定した三重県が、新たに教育的視点を考慮して共催で行った「指導者養成講座」や「出前講座・移動教室」の実施の方向性をご紹介します。

高瀬 宏樹（(独)国立青少年教育振興機構 国立曽爾青少年自然の家 企画指導専門職）
木本 美知子（三重県林業研究所 普及・森林教育課 課長代理）

【2】都道府県レベル

「滋賀県林務部署・教育委員会及び・森林総合利用施設等との連携で行う、森林体験学習「やまのこ」とその推進体制づくり」

- 県林務部署と教育委員会が協働して、「琵琶湖森林づくり県民税」を活用して全ての小学校4年生を対象に行う森林環境学習「やまのこ」と、その受入施設（森林総合利用施設等）と連携して行う多様な活動、さらには全国植樹祭を契機とした「緑の少年団」促進の方向性についてをご紹介します。

滋賀県 琵琶湖環境部 森林政策課・滋賀県教育委員会
森林公園くつきの森（「やまのこ」受入施設）

【3】市町村レベル

「教育養成大学・森づくりコミッション・公立保養施設等が協働した推進体制づくり」

- 小金井市教育委員会が東京学芸大学等と連携して、森林環境譲与税の活用を見据えて行った小金井市「清里山荘」（山梨県北杜市）周辺の県有林での「林業体験」や、(一社)東京学芸大 Explayground 推進機構による放課後活動を中心とした「緑の少年団」の取組をご紹介します。

大熊 雅士（小金井市教育委員会 教育長）
宮村 連理（東京学芸大学附属小金井中学校、(一社)東京学芸大 Explayground 推進機構）
島田 欣也（やまなし森づくりコミッション、(公財)山梨県緑化推進機構）

5. ディスカッション「青少年教育施設等と連携した「森林 ESD」「緑の少年団」の推進体制づくり」
6. インフォメーション・閉会

《希望者のみ》個別質疑応答・情報交換会

お申込先・お問合せ

公益社団法人国土緑化推進機構 政策企画部 [担当:山本・矢島・林]

TEL : 03-3262-8437 FAX : 03-3264-3974 E-mail : comis@green.or.jp

(一社)東京学芸大 Explayground 推進機構 [担当:木俣]

TEL : 090-2164-8627 E-mail : tomohiro_kimata@yahoo.co.jp